

Perl

Perl に関するメモです。

Perl カテゴリ

Perl に関するページについては Category/Perl も御覧ください。

SSL を使うモジュールがインストールできない場合・・・

例えば、Net::Twitter:: とか ...。とにかく、Crypt::SSLeay あたりを使うモジュール全般について、インストールできない場合の対策です。

いくつか躓くところがありますが、まとめて手順を書いておきます。

1. まずは、OpenSSL の開発パッケージをインストール。
 - ・ Fedora/CentOS など : \$ sudo yum install openssl-devel
 - ・ Ubuntu など : \$ sudo apt-get install libssl-dev
2. 次に、Net::SSLeay をインストール。
3. 次に、Crypt::SSLeay をインストール。(LANG=C をつけて、言語設定による不具合を回避。)
 - ・ \$ LANG=C cpanm -v Crypt::SSLeay
4. 最後に、その目的のモジュールをインストール。うまく行くはず。

Bareword "use_test_base" not allowed while "strict subs" in use at Makefile.PL

Test::Base および Module::Install をインストールすると解決できる。(参照)

ダメなら、直接 Makefile.PL を開き、

```
use_test_base;
```

を

```
&use_test_base;
```

に変更する(参照)

Data::Model + Data::Model::Driver::MongoDB のエラー

```
Attribute (value) does not pass the type constraint because: Validation failed for 'Str' with value
undef at /home/xxx/perl5/lib/perl5/x86_64-linux-thread-multi/Mouse/Util.pm line 383
Mouse::Util::throw_error('Mouse::Meta::Attribute=HASH(0x249f580)', 'Attribute (value) does not pass
the type constraint because: ...', 'data', undef, 'depth', -1) called at
lib/Data/Model/Driver/MongoDB.pm line 128
Data::Model::Driver::MongoDB::delete('Data::Model::Driver::MongoDB=HASH(0 x247 e0 f8 )',
'Data::Model::Schema::Properties=HASH(0x15fb9c0)', 'ARRAY(0x34d6a30)') called at /home/xxx/perl5
/lib/perl5/Data/Model.pm line 503
Data::Model::delete('Hoge::yyy=HASH(0x247e068)', 'Hoge::yyy::app_status=HASH(0x2dcb628)') called at
/home/xxx/perl5/lib/perl5/Data/Model/Row.pm line 27
```

のようなエラーが発生する場合・・・Data::Model のスキーマ定義で

各コレクションのカラムに "id" を入れ忘れていないか、チェックすること。

WebAPI を使うスクリプトのテストの実装について

WebAPI を使うスクリプトのように "外部サーバとの通信を要するプログラム" に対してテストを書きたい場合・・・

- ・ "Test::Fake::HTTPD" などを使ってテスト用のフェイクサーバを作る。
- ・ もしくは、"Test::Mock::LWP::Conditional" を使ってリクエストに対するレスポンスを変更するスタブをあてる。

<http://perl-users.jp/articles/advent-calendar/2011/test/16>

CGI でブラウザの表示が途中でとまってしまう

print による出力が最後まで行われていない可能性がある。
以下の点のような対策をすると解決するかも。

- ・ \$|=1; を記述する。(\$| を 0 以外に設定しておけば出力のバッファリングを行わなくなるつまり print などをするですぐに出力する。参考)
- ・ 最後の print の末尾に改行を入れる
- ・ 実行が終了する前 (exit の前) に、close STDOUT; で、ブラウザへの出力終了を行う。

あとは、サーバソフトウェアを変えてみるとか。

CPAN の設定を初期化する (初期設定を行う)

コマンドプロンプトを起動して、cpan を実行して、

```
o conf init
```

を実行。

LWP で SSL(HTTPS) を使えるようにする。

ActivePerl 5.10 ではデフォルトで LWP が入っているが、Crypt-SSLLeay が無いので、SSL は使えない。Crypt-SSLLeay を導入するには、PPM を利用する。

コマンドプロンプトを起動して、ppm-shell を実行。

install <http://cpan.uwinnipeg.ca/PPMPackages/10xx/Crypt-SSLLeay.ppd>

と入力する。

必要なライブラリは自動的に入る。

また、必要な DLL などが無い場合は、インストールするかどうか (y を選択) と、

インストール先 (デフォルトのまま Enter) を聞かれるのでそれに答える。

(尚、旧バージョンの ActivePerl から移行する場合は、一旦アンインストールして、Perl のフォルダを完全に削除してから新しいバージョンに移行すること。)

情報引用 : <http://d.hatena.ne.jp/hirdy/20080221/1203594070>

Perl から他の言語を使う

以下のようなモジュールがあるのでそれを利用する。

- ・ C : Inline::C
- ・ Java : Inline::Java
- ・ JavaScript, VBScript : Inline::WSC<http://search.cpan.org/~johnd/Inline-WSC-0.02/>

PAR(Perl スクリプトを EXE 化するライブラリ) を入れる

確実にやるには、まず、以下のプログラム環境をそろえる。

- ・ ActivePerl 5.10.0 (Build 1004)
 - ・ <http://downloads.activestate.com/ActivePerl/Windows/5.10/ActivePerl-5.10.0.1004-MSWin32-x86-287188.msi>
- ・ MinGW 5.1.4
 - ・ http://sourceforge.jp/projects/sfnets_mingw/downloads/Automated%20MinGW%20Installer/MinGW%205.1.4/MinGW-5.1.4.exe/

- Microsoft nmake 1.5
 - <ftp://ftp.microsoft.com/Softlib/MSLFILES/nmake15.exe>
 - PAR 0.991
 - <http://ftp.yz.yamagata-u.ac.jp/pub/lang/cpan/modules/by-module/PAR/PAR-0.991.tar.gz>
 - PAR::Packer 0.991
 - <http://ftp.yz.yamagata-u.ac.jp/pub/lang/cpan/modules/by-module/PAR/PAR-Packer-0.991.tar.gz>
- 1.ActivePerl 5.10.0 (Build 1004)(ActivePerl-5.10.0.1004-MSWin32-x86-287188.msi) をインストールする。インストール設定はデフォルトのままで構わない。
 - 2.MinGW 5.1.4(MinGW-5.1.4.exe) をインストールする。インストール時、以下のファイルだけ選択してインストールを行う。
 - MinGW base tools
 - g++ compiler
 - 3.Windows の、システムのプロパティ (システムの詳細設定) から、” 環境変数 ” 設定を開き、MinGW をインストールしたパス (例 :C:\MinGW\bin) を、システム環境変数の ” Path ” に追記する。
 - 4.Microsoft nmake 1.5(nmake15.exe)、PAR(PAR-0.991.tar.gz)、PAR::Packer(PAR-Packer-0.991.tar.gz) は、Lhaplus などのアーカイバソフトウェアを利用して、それぞれ、適当な場所 (デスクトップなどでも可) へ、解凍 (展開) を行っておく。
 - 5.nmake15.exe を解凍 (展開) して出てきた、NMAKE.EXE と、NMAKE.ERR を、Perl をインストールしたフォルダの中の bin フォルダ (例 :C:\Perl\bin) にコピーする。
 6. コマンドプロンプトを起動し、PAR(PAR-0.991.tar.gz) を解凍 (展開) して出てきたフォルダへ移動する。
 7. コマンドプロンプトで、Makefile.PL と入力し実行する。
 8. コマンドプロンプトで、nmake と入力し実行する。
 9. コマンドプロンプトで、nmake install と入力し実行する。
 10. コマンドプロンプトで、PAR::Packer(PAR-Packer-0.991.tar.gz) を解凍 (展開) して出てきたフォルダへ移動する。
 11. コマンドプロンプトで、Makefile.PL と入力し実行する。
 12. コマンドプロンプトで、nmake と入力し実行する。
 13. コマンドプロンプトで、nmake install と入力し実行する。

以上。

参考ページ : http://hardsoft.at.webry.info/200801/article_4.html

wxPerl

[Perl/Wx](#) に移動しました